

選択実技【視唱・視奏】



出題：単旋律一題

受験生は、出願時に試験当日の演奏手段（歌唱・専攻楽器・ピアノ）を申告する。

楽譜は高音部譜表と低音部譜表の準備がある。申告した楽器の音域によって、試験当日の予見練習時に、いずれかの適切な楽譜を選択する。

予見：楽譜が渡されてから、20分の予見および練習時間がある。移調楽器の場合、運指（記譜）による演奏、実音での演奏、どちらでも良い。

受験生は一人一部屋の練習室が与えられる。その際、楽譜への書き込み・記入等は可能だが、試験時には書き込みのされていない楽譜を改めて渡す。

試験：試験場は練習室と異なる部屋になることもある。